

～ 訓練を終えて ～

- 地区ごとに訓練内容を4班に分け、ローテーションで同時進行したため、無駄がなく、大半の人が実体験出来て良かった。
- あいにくの天気で体育館での実施となったが、まとまり良く出来た。
- 今後子ども達の参加を広げていきたい。「みざっ子祭り」などの行事の時にも『防災』のブースを設けて、子ども達の意識向上を図っていきたい。
- 椅子を用意したらどうかという意見もあったが、訓練なので基本的には用意しない方が良い。ただし、身体的に苦痛な人のためには椅子も一定数用意した方が良い。
- 今後は訓練を継続し、経験を積み重ねて、より良いものに発展させていきたいと思う。

地域の行事に参加して 助け合える地域づくりを!!

コミュニティ美座 代表 梅村 諭
宝塚市小浜2丁目5-25-721
TEL 0797-84-7120

平成28年は11月に美座小学校で「地域防災訓練」を行いました。雨天にもかかわらず、多くの地域の人々や子どもたちにも参加してもらいました。訓練の内容は他のページでご紹介のとおりですが、宝塚市の総合防災課、西消防署、美座小学校、地域の活動団体や民間の事業所などにご協力いただき、大変有意義な活動となりました。この訓練の経験を活かし、さらに充実した内容の訓練に発展させていきたいと思っております。

ところで、もし大きな災害が発生しますと、宝塚市役所や消防署、場合によっては自衛隊などの公的支援が行われますが、阪神淡路大震災でも経験があるように、すぐには公的支援（公助）が自分たちの地域へ届かない可能性が高い、と考えておく必要があります。ですから、少なくとも公的支援が届くまでの間は、自分で（自助）＝自らの命は自らで守る、そして（共助）＝自分たちの地域は自分たちで守る、という心構えが、私たちにとって、とても大事なのです。

コミュニティ美座の活動として特に大切にしているのは、地域で助け合う「共助」です。「共助」を広げるのは、まさに防災訓練ですが、でも、それだけではありません。日頃のふれあい喫茶やサークル活動、また会食会や季節のイベントなどの楽しい活動も「共助」の大きな役割を担っているのです。

いろいろな行事に参加する人の輪が広がることで、人々の顔が見えるつながりが大きくなり、イザという時に、互いに助け合える地域づくりになると信じています。皆さん是非コミュニティの楽しい行事にお気軽にご参加ください。

編集後記 (編集委員……橋本・宮崎・石川・間瀬・大場)

今回の地域防災訓練はコミュニティ美座として初めての試みでした。今後、このような防災対策活動を始め、これからも地域の皆様の交流を深めるためのお手伝いが出来ればと思っています。

宝塚美座小学校区

コミュニティ美座だより

発行 コミュニティ美座 (美座地域まちづくり協議会)

～ いつ やって来るか分からない自然災害 ～

私達の日頃の備えが命を守る!!

地域防災訓練 を実施しました

阪神淡路大震災から22年。当時の不安、混乱、恐怖などの記憶が薄らいできているのではないのでしょうか。その後、日本各地で地震、水害などの大災害が数多く起こり、いつまた私たちの身に降りかかるかも知れません。

『災害は忘れたころにやって来る』という言葉どおり、日頃から心の備えが大切だと思われれます。

コミュニティ美座も平成27年度に「防災対策委員会」を立ち上げ、自然災害に備え、地域の皆さんと共に意識を高める取り組みをしています。

今回は、2016年11月19日に130名余りの皆さんに参加いただき実施した「地域防災訓練」の様子をお届けします。



車イス・応急手当

竹竿と洋服で作った簡易担架、レジ袋やタオルなど身近な布を使っのての手当



心肺蘇生 AED

街中で設けられているAEDを正しく使えますか？
「AEDを持って来てください」「だれか救急車を呼んでください」など
落ち着いて言えますか？



避難経路 MAP

家の近くは大丈夫？避難途中に危ないところはないですか？
地図に書き込み、危険場所の確認。



子ども向け

絵の描いたパネルを使い、ゲーム方式で災害の時、どのような行動をとればよいかを楽しく学びました。いざという時、思い出してね。



炊き出し

市備蓄のアルファ化米・災害用の大鍋を使っのての豚汁作り。



土嚢作り

朝からの雨で校庭がぬかるんでいたため中止となりましたが、次回の訓練で実施します。

宝塚市総合防災訓練

コミュニティ美座も1月17日、役員7名で消火・避難誘導訓練に参加しました。

